

リフォーム申請書類の 書き方・撮り方



写真や記入例をご参考ください。
もしも、工事写真や見積書、数量計算書が不十分とみなされた場合は、受付できません。

リフォーム申請書類の 書き方・撮り方 ー目次ー

(1)	バリアフリー工事(例:段差解消)	1
(2)	塗装工事(例:屋上防水)	2
(3)	剥離補修工事	3
(4)	拾い図	4
(5)	見積書	5
(6)	ブロック塀撤去工事について	6

(1) バリアフリー（例：段差解消）

①施工前（全景）



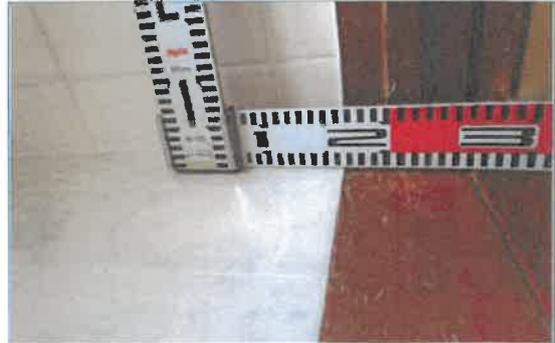
施工前（数字が見えるように撮る）



②施工中



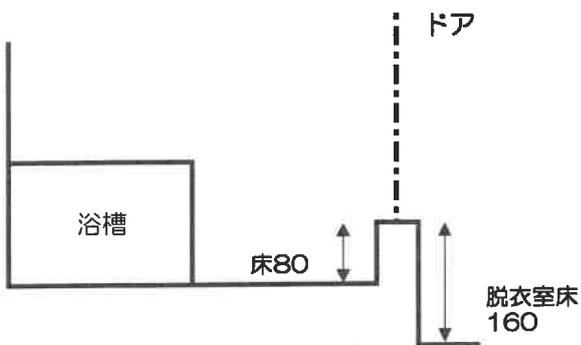
③工事完成（数字が見えるように撮る）



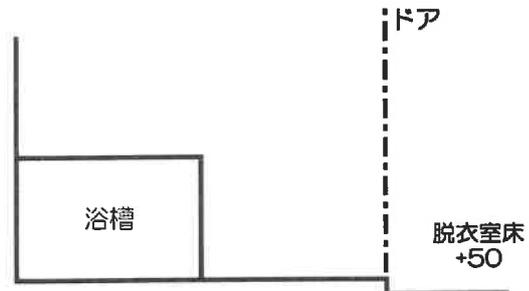
1

●略図例（浴室段差解消の場合）立面図

段差解消施工前



段差解消施工後



- ※ 写真を撮る際、施工前、施工後どちらも測定工具を用いて寸法が確認できるようにしてください。
- ※ 補助金申請をする工事箇所は全て略図を付けてください。
- ※ **外観の写真**も必ず提出してください。
- ※ 写真台帳に工事箇所、工事内容を必ず記入してください。

(2) 塗装工事 (例: 屋上防水)

① 施工前



② 高圧洗浄



③ プライマー



④ 中塗り (1回目)



⑤ 中塗り (2回目)



⑥ 上塗り



⑦ 完成



⑧ 使用済み缶

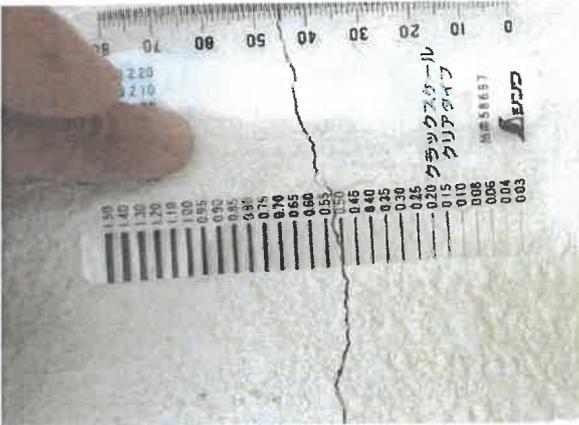


【注意】

- ※ 見積書に記載されている工事は全て撮るようお願いいたします。
- ※ 何かしらの理由で写真が撮れない箇所についてはご相談ください。
- ※ 写真台帳に工事箇所、工事内容を必ず記入してください。

(3) 剥離補修工事

① 施工前



② 施工中1 (錆止め塗布)



施工中2 (埋め戻し)



② 施工後



【注意】

- ※ 剥離補修工事を行う部分は全て写真を撮ってください。(東西南北ある場合も全て)
- ※ 塗装をする場合、ひび割れ補修をした部分のみになります。
- ※ 写真台帳に写真工事箇所、工事内容を記入してください。

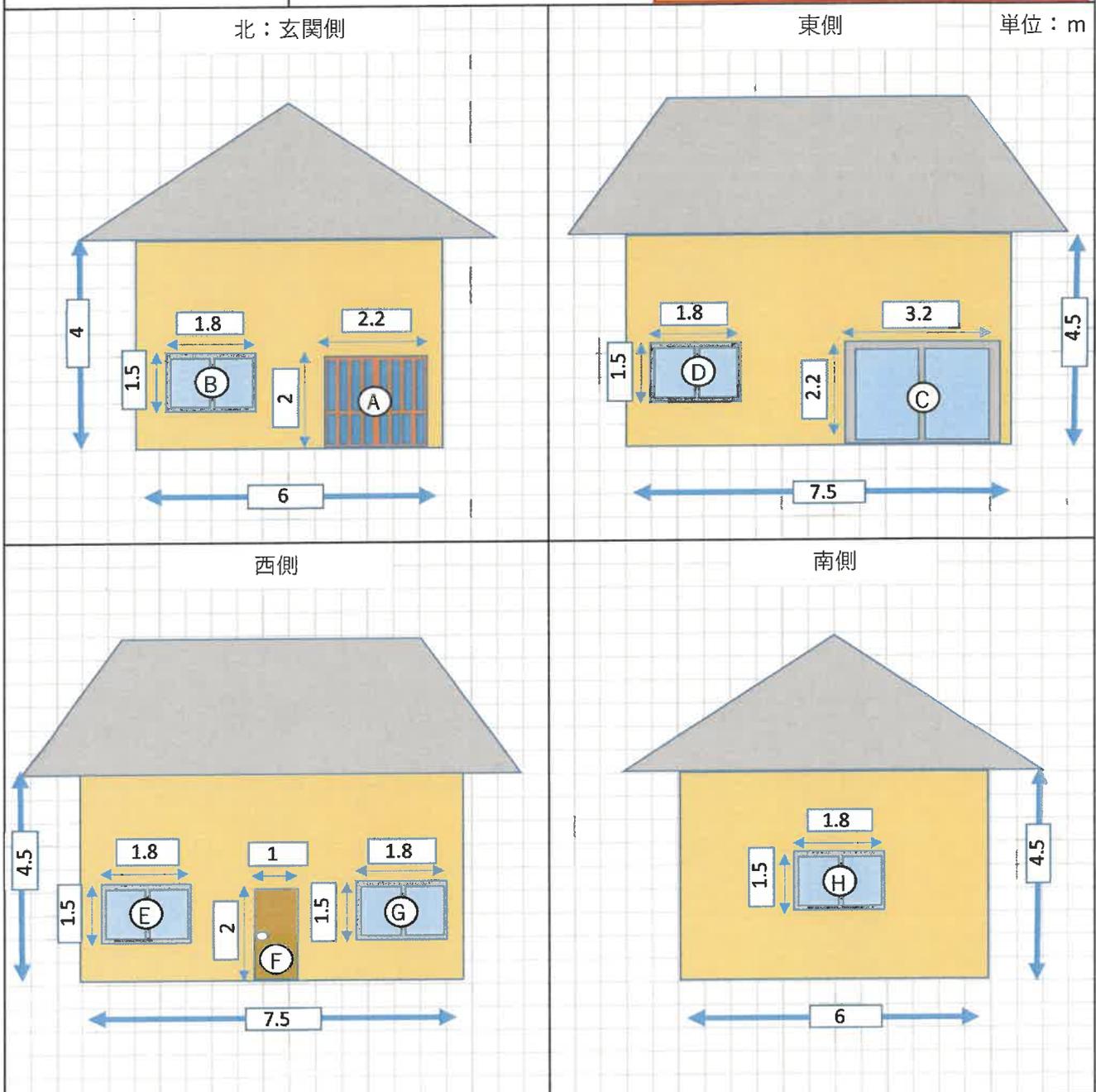
(4) 拾い図

見積の根拠となる拾い図 (工事数量計算)

工事内容

〇〇邸 外壁塗装工事寸法図

※下記を参考に作成してください。



計算欄 壁総面積：(7.5m×4.5m×2面) + (6m×4.5m×2面) = 122㎡

A (玄関)：2.0×2.2=4.4㎡

G (西側窓)：1.5×1.8=2.7㎡

B (北側窓)：1.5×1.8=2.7㎡

H (南側窓)：1.5×1.8=2.7㎡

C (東側窓)：2.2×3.2=7.04㎡

A + B + C + D + E + F + G + H = 25㎡

D (東側窓)：1.5×1.8=2.7㎡

122㎡ (壁面積) - 25㎡ (窓等総面積) = 97㎡

E (西側窓)：1.5×1.8=2.7㎡

F (西側窓)：2×1=2㎡

(5) 見積書

工事見積書

記入例

申請者名 / 沖縄 太郎

工事場所 / 沖縄市仲宗根町26番1号

工事箇所	項目	数量	単位	単価	金額	住宅改修の種類
外壁	高圧洗浄	1	式	20,000	20,000	※2
〃	Uカット処理	1	式	40,000	40,000	※2
〃	シーラー塗布	200	m ²	1,800	360,000	※2
〃	トップ遮熱コート	200	m ²	2,000	400,000	※2
屋上	高圧洗浄	1	式	20,000	20,000	※4
〃	塗膜目荒らし	60	m ²	300	18,000	※4
〃	コーナー処理	30	m ²	300	9,000	※4
〃	中塗り	60	m ²	2,700	162,000	※4
〃	トップコート	60	m ²	1,200	72,000	※4
	諸経費	1	式	20,000	20,000	
補助金対象金額					1,121,000	
外壁	軒天	90	m ²	3,400	306,000	※7
〃	外階段	25	m ²	3,400	85,000	※7
〃	天井（玄関ニス塗）	1	式	10,000	10,000	※7
	諸経費	1	式	20,000	20,000	
					0	
					0	
補助金対象外金額					421,000	
合計（契約金額）					1,542,000	

※消費税を含めない

【住宅改修の工事種別】

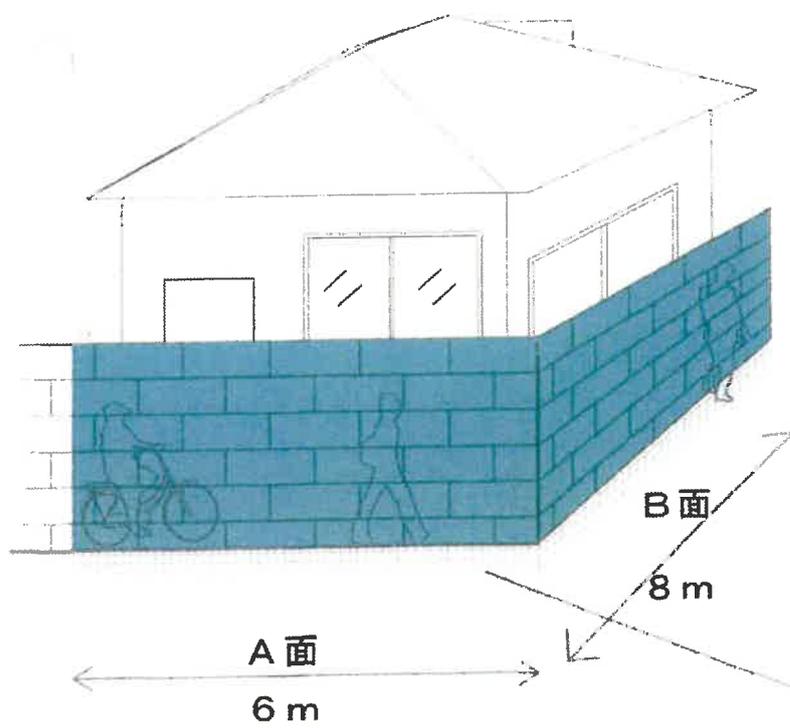
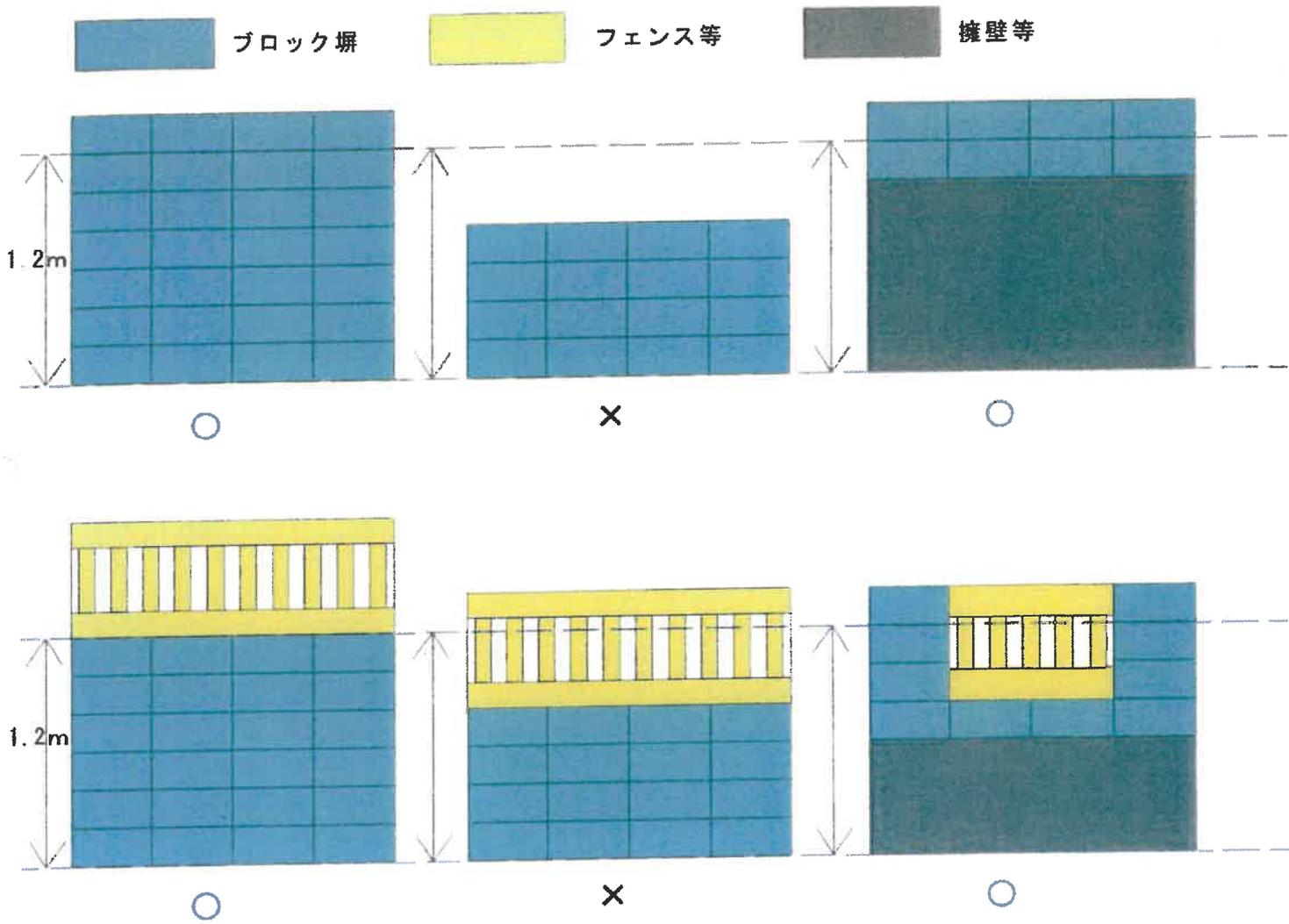
- ※1 バリアフリー改修工事
- ※2 省エネ改修工事（窓、床、屋根、壁の断熱又は遮熱工事等）
- ※3 空き家の改修工事
- ※4 耐久性を向上させる改修工事（剥離補修、居室空間にかかる防水塗装等）
- ※5 子育て支援（事故防止、防犯、ビルトイン食洗器設置工事等）
- ※6 テレワークの推進改修等工事
- ※7 対象外工事

工事内容を下にある
※1～※7の工事種別から
選び、住宅改修の種類
に入力してください

通学区域内とは

市内の小中学校から約半径500m圏内のことです。

ブロック塀等撤去工事の対象となるブロック塀の参考例 立面図



下記の計算式1,2のいずれか少ない額が補助金額となります。 ※1,000未満の端数切り捨て

計算式 1
 ブロック塀等の延長 ※基礎なし
 A面 6m + B面 8m = 14m
 14m × 12,000円 = 168,000円

計算式 2
 工事金額 280,000円 補助率3分の2
 280,000円 × 3分の2 = 186,000円 ≤ 上限200,000円

対象条件	1mあたり	当該ブロック塀等の延長 計算式	補助額	結果
基礎なし	12,000円	12,000 × 14m	168,000円	○
基礎あり	19,000円	19,000 × 14m	266,000円 ≥ 200,000円	
ブロック塀等撤去工事費用の 3分の2相当分 上限20万円		280,000 × 3分の2	186,000円	

※補助上限200,000円
 ※ブロック塀等撤去工事にかかる基礎撤去を含む場合は、対象条件が変わります。